

沢山小学校3年生の授業

沢山小学校3年生は、川と海のつながりをテーマに、フィールドワークでは学校の近くの川に行き、講師が仕掛けた罠に入った川の生き物を観察しました。その後の座学では、フィールドワークを振り返り、川や海の生き物について、生き物どうしのつながりについて学びました。

令和5年度の実績

以下の日程で専門家の講師が授業を行いました。

- 授業「学区の自然を体験しよう」
フィールドワーク：令和5年6月26日(月曜日)
座学：令和5年7月3日(月曜日)

授業「学区の自然を体験しよう」

フィールドワーク

- 実施日：令和5年6月26日（月曜日）
- 内容：講師は学校の近くの川の水源に生徒を連れて行き、サワガニとヘビトンボを捕まえました。講師はサワガニとヘビトンボは上流の生き物であることを説明しました。その後、下流に移動し、川に仕掛けた罠を引き上げ、その中に入っていたモクズガニ、手長エビ、ウキゴリ（ハゼの仲間）、ドジョウ、カワニナ、エビなどを観察しました。生徒たちは通学路の川に色々な種類の生き物がいることに驚き、手で触りながら観察し、自然を体験しました。



座学

- 実施日：令和5年7月3日（月曜日）
- 内容：講師はフィールドワークで見たモクズガニ、ウキゴリ、テナガエビは海で産まれて、大きくなってから川に上ってくるため、これらの生き物がいることにより海と川がつながっていることを証明できると説明しました。